

[単位：千円]

【新規事業】

- 1 **こども誰でも通園制度** 290,007(皆増)
来年度から開始される「こども誰でも通園制度」を、より利用しやすい制度とするため区独自に月利用時間の拡大や保育料の無償化等の拡充を図り、子どもの健やかな育ちを支援する。
- 2 **私立幼稚園プレ保育制度** 162,323(皆増)
プレ保育を実施する園に対して、こども誰でも通園制度を活用した補助を行うことで、保育料を無償化し、保護者への経済的支援を図る。
- 3 **一時預かり事業及びファミリー・サポート事業の無償化** 21,850(皆増)
「こども誰でも通園制度」の無償化に合わせ、一時預かり事業とファミリー・サポート事業を区独自で無償化し、より利用しやすい制度とする。
- 4 **産婦健康診査** 60,995(皆増)
母体の身体機能の回復及び産後うつの予防等を図る観点から、出産後間もない時期に実施する産婦健康診査の費用を助成する。
- 5 **1か月児健康診査** 34,288(皆増)
出生後の早い時期に、発育発達の確認や疾病等の早期発見を目的に実施する1か月児健康診査の費用を助成する。
- 6 **5歳児健康診査** 77,122(皆増)
すべての子どもが、健やかに成長できるよう、乳幼児期から就学まで切れ目ない支援を行うため5歳児健康診査を実施する。
- 7 **5歳児健康診査を軸とした就学相談の推進** 110(皆増)
5歳児健康診査結果で「特性有」となった児童・保護者へ就学相談の案内通知を送付し、6歳（年長）になる年に速やかに就学相談を実施する。
- 8 **外国語教育の充実 中学生へのICTを活用した英語力向上の取り組み** 49,506(皆増)
生徒が間違いを恐れずに英語のやり取りを繰り返し、思う存分英語の練習ができるICT環境をつくる。

9 外国語教育の充実 英語体験施設「TGG」での活動推進 38,155(皆増)
小学校4年生が英語体験施設において、これまでの英語学習で身に付けた英語力を発揮し、「もっと英語を話したい」という気持ちを高めることで今後の学びにつなげる。

10 江戸川区給付型奨学金 10,495(皆増)
様々な理由から大学等への進学が困難な状況にある学生を対象として、一人ひとりの状況に合わせた給付型奨学金を創設する。

11 子どもを対象とした区長への手紙「子どもレター」(新)【広報課】 145(皆増)
子どもが気軽に区へ意見やアイデアを伝える方法や機会を設ける。

12 子ども会サポート事業 510(皆増)
子ども会役員・育成者の負担軽減を図るため、ワークショップの開催等により子ども会運営の支援を実施する。

【拡充事業】

1 保育所等での配慮を要する児童の受入れ支援 1,028,214(678,319)
配慮を要する児童の増加を踏まえ、対応する加配職員の確保と定着に向けて、私立幼稚園の預かり保育部分と私立認可保育所に対して、加算額を引き上げることで各施設での受入を支援する。

2 外国語教育の充実 小1・2年生とALTとの触れ合い 295,988(265,881)
小学校3年生から始まるALTとの学びを小学校1年生・2年生に拡大し、義務教育9年間を通して本物の英語に触れる環境をつくる。

3 子ども未来館プログラムへの参加機会の拡大 5,945(0)
出前・出張プログラムの推進およびオンラインプログラムを実施することにより、多くの小学生に子ども未来館を体験してもらう。

4 HPVワクチン接種体制の強化 363,569(159,917)
定期接種予診票(女子)の発送時期の前倒しと任意接種(男子)お知らせハガキの全対象者への送付を行う。また、9価ワクチンを男子の助成対象に追加する。

5 新技術を活用した児童相談所職員の人材育成 1,069(0)
VR技術を活用したロールプレイ研修の対象者を新採・異動職員に加え、ベテラン職員にも行うことで職層に合わせた実践的な能力を強化し、さらにストレス値・心拍数を計測することで心身の疲労を未然に防ぐ。